

バナミン[®]ペースト

BANAMINE[®] paste

2014年7月 作成



バナミン ペーストは、1g 中、主剤としてフルニキシメグルミンをフルニキシンとして 50 mg 含有する経口ペースト剤である。フルニキシンは、1966 年にシュering・プラウ社により合成された非ステロイド系消炎鎮痛薬 (NSAIDs) で、その主たる作用機序としてアラキドン酸代謝におけるシクロオキシゲナーゼ活性を阻害することによりプロスタグランジンの産生を抑制することが明らかにされており、主としてこの作用により解熱・消炎・鎮痛効果を示すと考えられている。

成分及び分量

本品 1g 中

主 剤	フルニキシメグルミン	83.0 mg
	(フルニキシンとして)	50 mg

効能又は効果

馬の運動器疾患に伴う炎症及び疼痛の緩和

用法及び用量

1日1回体重1kg当たりフルニキシンとして1mg(ペースト製剤として0.02g)を経口投与する。

使用上の注意

【一般的注意】

- (1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
- (2) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- (3) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- (4) 本剤を反復投与する場合は5日間を限度とすること。
- (5) 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

本剤は薬事法第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、馬について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。

馬：食用に供するためにと殺する前5日間

【使用者に対する注意】

誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

【馬に対する注意】

1 制限事項

- (1) 本剤は妊娠動物には投与しないこと。
- (2) 本剤のシリンジ容器に設定されている切り欠き及び目盛りは、150 kg 未満の馬に有効量が正確に投与できるようには設計されていない。また、100 kg 未満の馬には有効性及び安全性は確認されていない。
- (3) 胃・十二指腸潰瘍、血液凝固障害、肝不全、腎不全がある馬には投与しないこと。
- (4) 出血傾向のある馬に対しては慎重に投与すること。
- (5) フルニキシメグルミン又は添加剤にアレルギーのある馬には投与しないこと。本剤には添加剤としてトウモロコシデンプン、プロピレングリコール及びカルメロースナトリウムを含む。

2 副作用

- (1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2) 本剤の投与により、消化性潰瘍又は消化管出血があらわれることがあるので、観察を十分行い、症状が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- (3) 本剤の投与により血液障害(溶血性貧血、白血球減少、血小板減少)があらわれることがあるので、異常が認められた場合は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- (4) 非ステロイド系抗炎症薬の一般的な副作用として、肝障害及び腎障害が報告されており、異常が認められた場合は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

3 相互作用

- (1) 他の非ステロイド系及びステロイド系抗炎症剤と併用した場合、消化器系の副作用を増強させるおそれがある。
- (2) 本剤は血漿蛋白結合率が高い非ステロイド系抗炎症薬であり、蛋白結合率の高い他の薬剤と併用すると血漿中の蛋白との結合において競合し、本剤又は競合する薬剤の血漿中遊離型濃度が変化し、それぞれの薬剤の有効性及び安全性に影響するおそれがあるので、併用する際は十分に注意すること。なお、蛋白結合率の高い薬剤としては、ループ利尿剤や炭酸脱水酵素阻害剤等の利尿剤、一部のACE阻害剤及び抗凝固剤等がある。
- (3) ゲンタマイシンなどのアミノグリコシド系抗菌剤と併用した場合、腎機能障害のリスクが高くなる可能性がある。
- (4) ワルファリンなどの抗凝固剤と併用した場合、出血の危険性が增大するとの報告がある。

裏面へ続く

表より続く

4. 適用上の注意

- (1) 本剤は対症療法であるため、診断を正確に行うと共に、適当な併用療法あるいは原疾患の根本的治療を行うこと。
- (2) 本剤は、体重 50 kg 単位で切り欠き及び 100 kg 単位で目盛りが設定されたシリンジ容器により、体重 150 kg から 550 kg 未満の馬に対して、フルニキシンを 50 mg 単位で投薬できるように設計されている。体重が 50 kg の倍数にならない場合には、体重 50 kg 単位で繰り下げた用量を、体重が 550 kg 以上の馬に対しては 2 本のシリンジを適切に組み合わせて使用すること。

【取扱い上の注意】

- (1) 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- (2) 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- (3) 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- (4) 本剤は使い切りとし、再使用しないこと。

貯法

室温保存

使用期限

外箱及びラベルに表示

包装

10g 入りシリンジ × 6 本

【問い合わせ先】

DSファーマアニマルヘルス株式会社

お客様相談窓口 ※携帯電話・PHS からご利用いただけます。

☎ 0120-511022 (平日 9:00~17:00)

販売元

DSファーマアニマルヘルス株式会社
大阪市中央区本町2-5-7

製造販売元 (輸入発売元)

株式会社インターベツト
茨城県かすみがうら市深谷1103



MSD

Animal Health
139757 R1